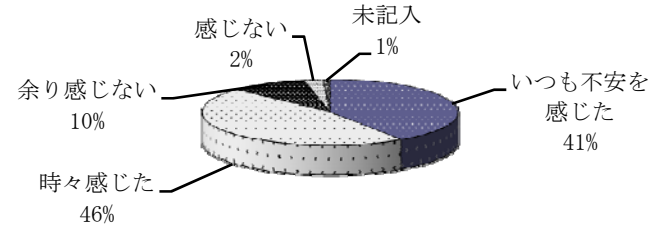


妊婦の不安増大・「出産控え」約4割の危機

(遠野市:平成17年度調査)

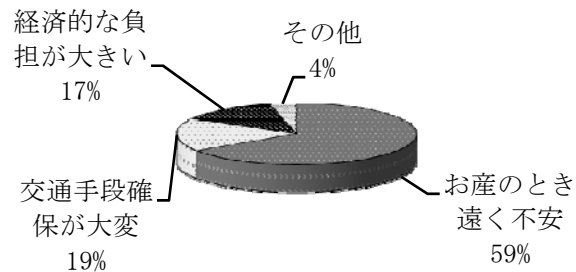
遠野市内の妊産婦を対象に遠野市が平成17年度に実施したアンケート調査では、市内にお産を取り扱う医療機関がなくなり、遠距離通院への不安と経済的負担を感じている人が大多数を占めました。また、地域でお産できないことに**出産を控えたいと感じた人が4割**に達する勢いであり、産科医療確保は緊急課題です。

市内で出産できないことに不安を感じましたか？



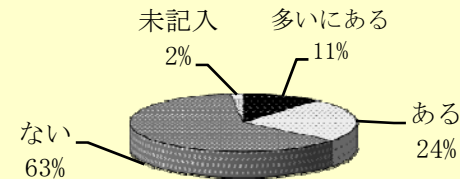
市内に医療機関がないことでいつも不安を感じた人は41%、時々感じた人46%。不安を感じている人は87%に及んでいる。

どんなことが不安でしたか？



どんなことが不安であるかは、お産のときに遠いことが59%、交通手段の確保が大変であることが19%、経済的負担が大きいことが17%の順となっている。

医療機関がないことで妊娠(出産)を控えようと思ったことがありますか？



市内に出産できる医療機関がないことで妊娠(出産)を控える24%、多いにあるが11%あった。控ええないは63%である。